

- ・「各種資産評価単価及びデフレーター(令和3年3月)」の訂正に伴い、令和3年度に事業評価を実施した事業について、費用便益分析への影響を確認しました。
- ・その結果、下表の事業について、算定の過程では便益の変化が確認されましたが、整数丸めの値及び小数点第一位までの値に変化はありませんでした。

※「各種資産評価単価及びデフレーター(令和3年3月)」における 各種資産評価単価の訂正について
https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001102.htm

事業名	B(億円) ※1			B/C ※2		
	訂正前	→	訂正後	訂正前	→	訂正後
撫養港海岸 直轄海岸保全施設整備事業	688	→	688	2.5	→	2.5
吉野川水系直轄砂防事業	985	→	985	1.3	→	1.3
物部川直轄河川改修事業	1,076	→	1,076	8.9	→	8.9
仁淀川直轄河川改修事業	3,066	→	3,066	4.2	→	4.2

※1 Bは総便益(事業全体、基準年(令和3年度)における現在価値化)を整数丸め(四捨五入)で記載
 ※2 B/Cは事業全体を記載